

世界農業遺産 にし阿波の傾斜地農耕システム

Globally Important Agricultural Heritage Systems



傾斜地で栽培される蕎麦

四国中央部の「にし阿波」(徳島県西部の山間部)では、段々畑のような水平面を形成せずに**傾斜地のまま農耕**し、敷き草(カヤ)を畑にすき込むことで土の流出を最小限に抑え、雑穀や伝統野菜、山菜、果樹を栽培してきました。

山で営む農業は
語り尽くせないほどの
味わいがある



古民家宿泊施設

ツチアゲの様子

日本の原風景ともいえる山村景観、食文化、農耕にまつわる**伝統行事**などが継承されています。

最近では、**農業体験交流**を推進し、観光客が多く訪れます。



鍛冶による伝統農具製作の様子



そばを粉にせず、実のままで食べる郷土食「そば米雑炊」



にし阿波：徳島県西部圏域の美馬市、三好市、つるぎ町及び東みよし町の2市2町からなる地域です。

世界農業遺産認定による効果

農林水産業

農林水産物の付加価値向上と消費拡大

- ・「にし阿波の傾斜地農耕システム」を効果的にPRするためのロゴマークの作成
- ・認証制度を創設し、傾斜地集落で栽培された農産物やその加工品にロゴマークを付けてブランド化を推進
- ・にし阿波地域の傾斜地農業の代表作物である「雑穀」と「ごうしいも」の増産プロジェクトチームの創設や秋植え実証圃の設置
- ・管内道の駅で地域特産物の販売促進。毎年、認定記念イベントを開催
- ・ネット販売と6次産業化へ向けたアドバイザー支援事業を実施



文化

伝統農法の継承

- ・にし阿波管内の農業遺産の認知度を高めるため、システムを学び、体感できるスタディーツアーを開催
- ・教育用資料として、教育読本やマンガを作成し地元小学校や中学校での出前授業を実施。農業者団体を対象にシステムの理解を深めるシンポジウムや勉強会を開催
- ・にし阿波の「食」と「農」に卓越した知識・技能等を有する人を「にし阿波・食と農の名人」として認定。担い手の育成と名人技の情報発信を行う
- ・野鍛冶を地元高校生が体験。継承としては、地元の金属加工企業が技術の習得や技術を応用した活用方法などを調査研究する事業を実施。



観光

日本の原風景を体感する交流人口の増加

- ・持続可能な山の暮らしや文化に親和性の高い人に対し、効果的にアプローチできる「メディア」を選抜したツアーを実施。プレスから当該エリアの魅力、そのみせ方・手法を調査し、今後の広報戦略に活用
- ・海外からの更なる観光客の来訪及び滞在日数の増加を図り、3日から7日間程度滞在できる、滞在コンテンツの造成
- ・欧米豪営業、アジア営業、アジア海外旅行博の出展等、戦略的な海外営業、プロモーション、ファムツアーの実施
- ・農泊施設を対象に、インバウンド対応研修、Webマーケティング研修などを実施し、受入体制の向上を図った



集落の維持、保全

多様な主体の参画による集落の保全

- ・多様な国の人材を受け入れる合宿型ボランティア活動である国際ワークキャンプを開催。数週間集落に滞在し、保全活動を実施
- ・企業研修や学生フィールドワークの受入れを行い協働での集落の保全



システムの世界への貢献

- ・インド国ミゾラム州からの視察受入れ。ミゾラム州では35度を超える傾斜地が多く、焼畑農業の生産が低下しているため、当地の技術を学び安定的な食糧供給を図ることを目的に実施
- ・香港漁農自然護理署の視察受入れ